

わくわく地域連携教育だより

下関市教育委員会
令和8年1月16日
ホームページ
にも掲載



今年度、下関市の教育理念を新たに「CHANCE（可能性）CHALLENGE（挑戦）CREATE（創造）～ふるさと下関に誇りと愛情 未来を拓く 一人ひとりの学び～」と掲げました。子供から大人まで生涯学び続けることを通して、豊かな街、豊かな人生をつくってほしいと思います。さて、下関市には、素晴らしい自然、伝統、歴史、文化があります。今回は、ふるさと下関の素晴らしさを再発見し、主体的に参画する子供たちを育成するために教育委員会が行っている取組を紹介します。

「ふるさと発見! 下関学クイズ王 決定戦」・下関学(楽)推進事業



下関市には、歴史博物館、美術館、考古博物館、土井ヶ浜遺跡・人類学ミュージアム、豊田ホテルの里ミュージアムなど各分野を専門とする博物館があります。それらの博物館が中心となって、「ふるさと下関」

の本質を探究する下関市独自の多彩な取組を総称して「下関学（しものせきがく）」と呼んでいます。11月22日（土）には、プレゼンターを前田晋太郎市長、クイズ大会進行をマサルさんが行い、ゲストに歴史大好き芸人口バート・山本博さんを招いて小学生対象のクイズ大会を行いました。「江戸時代、長府藩の名物として有名だった食べ物は何ですか？」など3択クイズで楽しく学べるイベントでした。（答え：そうめん）

その他、下関学（楽）推進事業として、地域の伝統文化に係る活動団体や博物館が小中学校で特別授業を行っています。令和7年度は、小中9校が参加しており、12月18日（木）には、文関小学校で「日本舞踊」の講座が開かれました。



下関市「夢・笑顔」クリエイティブ事業



下関市の地域連携教育では、子供たちの「参加とともに参画」を目指しています。「夢・笑顔」クリエイティブ事業では、地域が元気になる企画を子供たちが考えて実施



しています。令和7年度は、6つの小中学校が3つの企画を実施しました。11月23日（日）には、川中中学校と勝山中学校の生徒が、地元を盛り上げようと新下関駅で「K2祭（ステージ、プレゼント企画、イルミネーション点灯式）」を行いました。実行委員会は2つの中学校の有志からなり、オンライン等を活用しながら話し合いを進めてきたそうです。関わった生徒は、達成感とともに創り上げる喜びを感じていました。